

兵庫県民間病院協会会報

(デジタル版)

2026

2

令和8年 通巻660号

目次

理事会報告	1
令和7年度 第3回 事務長会幹事会	3
協会だより	4
エリア情報 (神戸・東阪神・西阪神・東播・西播)	5
(一社) 兵庫県全日本病院協会だより	11
兵庫県病院協同組合だより	15
兵庫県病院企業年金基金だより	17

令和7年度 第8回理事会議事録（速報）

I 日 時 令和8年1月15日（木）
15：00～16：00

II 場 所 兵庫県医師会館6階
第4・5会議室

III 出席者 理事総数19名 出席理事18名
監事総数2名 出席監事2名
理 事：橋本創（会長）、高橋玲比古（副会長）、
北川透（副会長）、東靖人（副会長）、
常岡豊、馬殿徹也、大江与喜子、
西昂、藤久和、具英成、宮地千尋、
吉田寛、栗原英治、森村安史、
大西尚、井上喜通、井野隆弘、
江尻一成

監 事：大村武久、稲見直邦
オブザーバー：播間利光（事務長会会長）
高田郁子（看護部長会会長）

なお、高橋玲比古、北川透、東靖人、馬殿徹也、藤久和、吉田寛、栗原英治、大西尚、井上喜通、江尻一成はWeb会議システムにより出席した。

IV 会議の成立

理事18名が出席し、定款第34条に規定する定足数を満たしており、本理事会が成立した旨確認された。

V 議 長

橋本創会長が、定款第33条の規定により議長となった。

VI 議事の経過の要領及びその結果

1 協議事項

(1) 病院給与・労働条件実態調査の一旦廃止について

大江委員長より、資料に基づき、令和7年度第2回経営労務委員会での協議結果について報告があり、継続を希望する支部もあるが、調査への参加病院数が年々減少していること、また、継続するとしても改善が必要であり時間を要する等の意見を踏まえ、病院給与・労働条件実態調査は一旦廃止とし、必要に応じてアンケートをする旨の説明があり、協議の結果、全員一致をもって承認し、可決した。

(2) 令和8年度事業計画（案）について

中村事務局長より、「令和8年度事業計画（案）」として、「管理運営・経営改善に関する事業」「地域医療に関する事業」「行政及び関連団体との連携に関する事業」「民間病院の労務・福利厚生に関する事業」「広報活動に関する事業」「研修会、講演会などの開催に関する事業」「神戸圏域医療介護連携システム」の運営」「他団体の活動支援」を従前通り実施することについて説明があり、協議の結果、全員一致をもって承認し、可決した。

(3) 令和7年度近畿病院団体連合会第2回委員会の役割分担について

中村事務局長より、資料に基づき、令和7年度近畿病院団体連合会第2回委員会の役割分担について説明があり、協議の結果、全員一致をもって承認し、可決した。

2 報告事項

(1) 会員の変更について

橋本会長より、以下のとおり会員の変更が報告された。

支部名	西阪神	
病院名(法人名省略)	西宮協立リハビリテーション病院	
新会員名	役職	病院長
	氏名	うきた とおる 浮田 透
旧会員名	役職	病院長
	氏名	みやけ ゆうじ 三宅 裕治
変更年月日	R7.10.1	

(1) 令和7年度公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰の受賞について

中村事務局長より、以下の報告があった。

- ① 受賞者 常岡 豊 先生
- ② 表彰式 令和8年2月24日(火)
イイノホール(東京都千代田区)

3 その他

(1) 兵庫県令和7年度12月補正予算(緊急経済対策)について

西理事より、令和7年度12月補正予算(緊急経済対策)について情報提供があり、意見交換を行った。

Web会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく終了した。

令和7年度 第3回 事務長会幹事会議事要旨

日時 令和8年2月5日(木)
16:00~17:10

場所 兵庫県医師会館6階 第1会議室

出席者

事務長会

播間会長、西宮副会長、伊田副会長、金澤副会長、
田中副会長、宮宗、伊藤、野原、池崎、下林(代理)、
横内、阿児、黒川、金田 各幹事

兵庫県民間病院協会事務局

中村事務局長、尾崎

兵庫県病院協同組合

稲田事務局長

1 議題

(1)令和7年度第2回近畿病院団体連合会事務 長会の対応について

中村事務局長より、資料に基づき、第2回近畿
病院団体連合会事務長会の概要について説明
があった。病院視察のための班分けについて
は、大阪府私立病院協会からの連絡があり次
第、共有することとなった。

令和7年度第2回近畿病院団体連合会事務長会
日時：令和8年3月12日(木) 13:30~18:30
場所：(病院視察)

- ①社会医療法人 生長会 府中病院
- ②泉大津急性期メディカルセンター
(指定管理者 生長会)
(懇親会)
- ③関空泉大津ワシントンホテル

(2)会報執筆分担について

中村事務局長より、資料に基づき、令和8年
4月から令和9年3月までの会報執筆分担に
ついて説明があり、担当月にはご協力いただ
くよう呼びかけがあった。

(3)病院給与・労働条件実態調査の廃止について

中村事務局長より、病院給与・労働条件実態
調査について、経営労務委員会で一旦の廃止
が決定し、必要に応じ、調査の再開またはアン
ケートを行う旨の報告があった。

(4)会員病院のメールアドレス収集について

中村事務局長より、当協会からのお知らせ
(県からの行政通知、研修会開催案内等)に
ついては FAX で送付しているが、全ての会員
病院に送付が完了するまでに時差があり公平
性に欠けるため、メールで一斉送信するた
めのアドレス収集をしたいとの説明があり、各
支部事務長会で諮ったうえ、3月末までに収
集し、4月からメールで送付することが決定
した。なお、FAXを希望する場合は、今まで通
り FAX で送付することとなった。

(5)その他

①令和8年度事務長会・看護部長会合同研 修会について

西宮副会長より、令和8年度事務長会・看護
部長会合同研修会について下記のとおり報告
があった。

開催日時：令和8年10月24日(土)

14:00~(予定)

②令和8年度近畿病院団体連合会事務長会について
中村事務局長より、令和8年の近畿病院団体連合会事務長会について報告があった。

第1回

開催日：令和8年9月3日（木）
開催場所：THE ORIENT（ジ・オリエント）
（旧オリエンタルホテル神戸）

第2回

開催日：令和9年3月4日（木）
開催場所：THE ORIENT（ジ・オリエント）
（旧オリエンタルホテル神戸）

（6）兵庫県病院協同組合からのご提案
兵庫県病院協同組合の稲田事務局長より、事前に送付しているアンケートおよび商品展示会等についての説明があった。

協会だより

令和8年 2月 3日（火） 兵庫県医療審議会医療法人部会
5日（木） 第3回事務長会幹事会
18日（水） 理事会（兵庫県病院協会と合同開催）
27日（金） 近畿病院団体連合会第2回委員会

[予定]

令和8年 3月 3日（火） 兵庫県医療審議会保健医療計画部会
12日（木） 第2回近畿病院団体連合会事務長会
19日（木） 理事会
23日（月） 兵庫県感染症対策連携協議会
24日（火） 兵庫県医療審議会 本会
26日（木） 令和8年度診療報酬改定研修会 配信開始
（配信期間：5月25日（月）まで）
27日（金） 兵庫県病院構造改革員会

エリア情報

神戸

(公社)神戸市民間病院協会
令和8年1月度 第7回理事会

日時 令和8年1月14日(木)
15:00~16:00
場所 神戸看護専門学校 8階会議室

理事総数 15名 出席理事数 13名
監事総数 2名 出席監事数 1名

出席役員

代表理事(会長) 西昂(議事録作成者)
理事 高橋玲比古、吉田寛、宮地千尋、
金守良、稲見直邦、吉田泰久、
中井正信、藤井正彦、久野英樹、
笹野哲郎、大西安代、中野市雄
監事 飯塚敏勝

出席参与・参事

参与 藤久和、具英成
参事 横内幸男、阿児良典、谷口美幸、
高田郁子、森嶋正美

上記出席者のうち、理事 宮地千尋、金守良、
稲見直邦、中井正信、藤井正彦、参事 谷口美
幸はWEB会議システムを用いて出席した。

上記のとおり出席があったので、定款第33
条の規定により会長 西昂が議長となり、審議
に先立ち、WEB会議システムにより、出席者が
一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明
が互いにできる状態となっていることを確認
した上で、開会を宣し議事に入った。

報告事項1 令和7年12月度管理部門並びに
看護専門学校等の収支報告

議長の指名により事務局長から、12月度の
管理部門並びに看護専門学校等の収支につい
て報告を行った。

報告事項2 学校報告

議長の指名により学校長から下記の報告を
行った。

(1) 学生の状況

1年生:

1月7日

劇団四季にて芸術鑑賞

(ナイチンゲールをテーマにしたミュー
ジカル)

12月

インフルエンザ感染者 1名

2年生:

1月13日~2月19日

専門分野実習

1月

インフルエンザ感染者 1名

3年生:

国家試験対策実施中

第115回看護師国家試験 2月15日(日)

(2) 2026年度入学試験について

一般試験(二次試験)

試験日時: 1月8日(水) 10:00~

願書受付: 12月4日~12月18日

試験科目: 国語総合・面接・書類審査

入試会議: 1月16日

合格発表: 1月19日(月)

ホームページにて発表

一般試験(三次試験)

試験日時: 2月5日(木) 10:00~

願書受付: 1月8日~1月21日

試験科目: 国語総合・面接・書類審査

エリア情報

(3) 令和7年度 臨地実習指導者研修会

12月22日 池西静江先生による研修会実施
臨床判断能力の育成に関する
具体的事例を用いた研修内容

参加者数：33名

実習病院・施設の実習指導者及び
看護部長が参加

アンケート結果 今後の実習指導及び新人
指導に非常に役立つ内
容であったと高評価

(4) 学校教育法一部改正に伴う学則変更の一部修正について

兵庫県教育課より学則の一部修正の指示あり

第25条 職員配置に関する内容：「専任教員」の表記を「基幹教員」に変更

(5) 人事に関する事

12月末付 専任教員1名退職

議題1 神戸市介護認定審査会委員候補者の推薦について

議長の指名により事務局長から、神戸市介護認定審査会の次期審査会委員候補者（令和8年4月1日～令和11年3月31日）の推薦について、次期審査会の運営体制及び委員候補者24名の選任方法について説明した。

議長は、本案を議場に諮った結果、異議なく承認された。なお、今回の推薦では、委員のなり手不足に対応するため、委員経験者のノウハウを活用するとの観点で、会員病院を退職後も継続して委員候補者に推薦する5名を含めて承認されたが、これに関し議長から、令和11年4月1日からの委員候補者の推薦にあたっては、理事等が所属する病院等から積極的に候補者を挙げていただけるよう協力を求める旨の依頼があった。

議題2 中央市民病院との連携会議について（報告）

議長の指名により事務局長から、令和7年度上半期民間病院協会連携実績報告書（中央市民病院作成）に基づき、連携は順調に行われていること、CAREBOOK未活用の会員病院について改めて周知する旨報告した。

議題3 令和8年度総会・理事会日程（案）について

議長の指名により事務局長から、令和8年度総会・理事会日程（案）について説明した。議長は、本案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

議題4 医療・介護従事者向け人生会議（ACP）実践報告会【多職種連携】の開催について（報告）

議長の指名により事務局長から、神戸市健康局地域医療課が主催する医療・介護従事者向け人生会議（ACP）実践報告会【多職種連携】（2月5日）の内容及び会員病院へは既に情報提供済である旨報告した。

議題5 その他

(1) 車椅子用クッション「NEOX」について

本会の冒頭、議長の指名により公益財団法人神戸国際医療交流財団から、車椅子用クッション「NEOX」について情報提供があった。これに関し、事務局長から当該情報を会員病院へ周知する旨の発言があり、事務局から周知することとなった。

(2) 施設基準に関する研修会の開催について

議長の指名により事務局長から、一般社団法人日本施設基準管理士協会近畿ブロック事務局が主催する「施設基準に関する研修会」（2月13日）の内容及び事務局から会員病院へ周知する旨報告した。

エリア情報

(3) 2月理事会 2月12日(木) 15:00~
※18:00~協会・二次救合同新春交歓会
(ホテルオークラ神戸)

15:55 から、一般社団法人神戸市第二次救急病院協議会と合同にて、神戸市健康局及び消防局の幹部職員による新年挨拶が行われた。

(一社)神戸市第二次救急病院協議会 第8回理事会議事録

日 時 令和8年1月14日(水)
15:50~16:40
場 所 神戸看護専門学校 8階 会議室
出席役員 理事12名(Web1名含む)
監事2名(Web2名含む)
実行委員8名(Web1名含む)
議 長 高橋 会長
議 題

1. 神戸市幹部職員の新年挨拶

神戸市健康局、消防局から熊谷健康局長・宮本救急部長他、多数の幹部職員が来訪し、年始挨拶に続き今年度の神戸市内での年末年始救急患者数について言及され、速報値で昨年度と比較して一次・二次・三次何れの医療機関においても激減しており約50%前後の患者数となりそれに伴い、救急搬送件数も減少したと報告された。その後、年度毎の比較において、年々増加している救急患者数に対応した二次救急病院の受け入れに謝意を述べられ、引き続き今年度も神戸市の救急医療に対する協力依頼があり、加えて、今年度の二次救急協議会への神戸市からの運営補助金増額の期待予想も述べられた。

2. 令和7年度年末年始実績報告について

釜戸事務局長より、令和7年度年末年始の実績報告があった。それによると、神戸市健康局の情報提供にもあるように神戸市全域において対昨年度比較で概ね50%の患者数減となった。当協議会の会員病院調査においても同様の集計結果(昨年6日間調査に換算)となり、約43%の患者数減となったとした。又、診療科別に比較してみても主な診療科では整形外科を除いて、概ね全科で患者数減となった。更に来院方法別では救急車搬送で約25%、Walk in で約49%の患者数減となったと報告した。次に来院患者の受診特色については、例年と同様で、発熱患者(インフルエンザ患者含む)、腹痛・下痢・嘔吐患者、転倒骨折・外傷患者等が多く受診したとも報告した。これを受け、高橋会長が理事会に諮ったところ異議なく承認された。

3. 年末年始強化期間の特別加算補助金について

釜戸事務局長より第6回理事会にて決議された年末年始特別加算金の令和7年度集計結果が報告された。それによると会員病院へ配分する加算金額は、3,780,000円となったとした。今年度も前年度と同様に神戸市からの年末年始等特別補助金が一定基準により支給されるので、その特別補助金は、2,991,979円となり当協議会からの支出は788,021円となるとしこの特別加算金は令和7年度補助金配分と同時に該当会員病院へ配分されるとも報告した。これを受け、高橋会長が理事会に諮ったところ異議なく承認された。

4. 行政要請書に関する神戸市の対応結果について

エリア情報

高橋会長より、第4回理事会にて審議された民間救急業者による誤解を招く広告配布に関する対応要請を神戸市健康局へ提出していたところ12月末に回答書が届いたと報告があった。それによると、神戸市健康局から当該民間救急業者へ聞き取り調査が行われ、同団体からの指摘事項への是正回答が提出された。特に、同団体が作成し配布したパンフレットの消防庁ガイドラインを無視した転院搬送、同団体からの転院先誘導等について関係機関に対して訂正文書が発出され、その訂正文書は事前に神戸市が確認する事となった。今後は当協議会としても同団体の行動を注視していくとし、理事会に諮ったところ異議なく承認された。

5. 二次救急輪番制当番引受必須義務達成について(令和7年10月~12月)

釜戸事務局長より、定款に則り標記状況についての結果報告があった。それによると、会員病院45病院が当番引受必須義務単位数(17.5単位)は無事にクリアされているとの事であった。これを受け高橋会長が理事会に諮ったところ異議なく承認された。

東阪神

事務長会定例会 議事録

日時 令和8年1月16日(金) 15:00~
場所 小田北生涯学習プラザ 学習室2・3

出席 西宮、宮宗、伊藤、河上、向井、榎村、井内、岡田、植木、井上、石橋、畑林、

堀、齋藤、野崎、徳岡、鈴木、丸中、辻井 計19名

議題

情報提供「勤怠管理システム等」について:

Jinjer 株式会社

1 事務長会・看護部長会合同研修会について
開催内容について調整中

2 診療報酬改定情報交換について(物価高騰対策含め)

補助金申請について確認

3 西阪神・東阪神民間病院協会事務長会合同研修会について

1月17日(土) 10:30~16:00

大和ハウス工業神戸支店

「病院DXと人的資本で挑む持続可能な病院経営を目指して」

講師 HITO病院 理事長 石川 賀代 他

4 適時調査・病院立入検査報告について

適時 無し

立入 無し

5 その他

・診療報酬請求実務者研修会

3/21(土) 尼崎中小企業センター

・迷惑、詐欺メールの情報共有

・救急車両導入、講習会等参加について

・SNSのロコミ、書き込み対応について

次回開催 令和8年2月20(金)

エリア情報

西阪神

2025年度 事務長研修会 議事録

日時 令和8年1月17日(木)
10:30~16:00
場所 大和ハウス工業神戸支店 会議室
出席者 30名のうち 15名出席
※西阪神事務長出席者のみ
議長 伊田会長
書記 加藤会報編集委員

今回の事務長会は、医療DXをテーマに東阪神民間病院協会事務長会との合同開催で1日研修として実施された。

本研修については事務長推薦枠を設けるなどを行い、事務長以外からも参加者を募った。結果、全体として42名が参加した。参加の内訳としては西阪神事務長会より15名、東阪神事務長会から9名、事務長推薦枠として9名、看護部長会から9名であった。

【プログラム詳細】

時間 10:30~12:00
内容 病院DXと人的資本で挑む、持続可能な病院経営を目指して
講師 HITO病院 石川 理事長

時間 12:00~13:00
内容 昼食・休憩(ランチョンセミナー)
講師 株式会社大塚製薬

時間 13:00~14:00
内容 『医療DXの即効薬！
~すぐに結果を出す、キーエンス流

RPA運用術~』

講師 株式会社キーエンス 蒲野 盛孝 氏

時間 14:20~15:20
内容 現場が回る 医療DXのスムーズスタート
~BizRobo!で始める、今日からできる業務改善~

講師 オープン株式会社 若林 孝太 氏

時間 15:20~15:40
内容 地域に根ざした病院の取り組み事例
講師 大和ハウス工業株式会社 泊口 明久 氏

◎ 次回の事務長研修会の予定

日時: 令和8年2月19日(木) 15:30~
場所: 西宮市医師会 会議室

東播

第627回 事務長会・役員会 議事録

日時 令和8年1月13日(火)
16:30~17:15
場所 ホテルキャスプルプラザ 西明石
出席者 田中、黒川、西井、吉岡、藤井、山野、伊福、永田

協議事項

- 12月会計報告
資料の内容通り
- 今年度事業
2月19日(木) 特別講演会について
現在の参加申込人数は27人
県の病院協会に東播地区以外の支部に再

エリア情報

募集を案内する。応募締切は2月6日（金）まで

当日の役割分担については、次回の役員会で決定する。

令和8年度の計画について

次月以降の役員会で検討をしていく

3 医療情報交換

近畿厚生局適時調査が予定の病院が1件あり

チェック内容については厚労省のHP記載内容を確認すること

訪問看護についての全国一斉調査が開始される模様

法人代表者を装ったLINE詐欺のメールが数病院に届いていたので注意喚起を行った。

3 その他

ドコモビジネスが取り組む病院DX

NTTドコモビジネスよりスマホを活用した導入事例等の紹介

次回開催予定日

日時：2026年2月10日（火）16：30～

西播

令和7年度 第7回 理事役員会

日時 令和8年1月15日（木）18：00～

場所 ホテル日航姫路 2階 桃李

理事総数 12名 出席理事数 8名

監事総数 2名 出席監事数 1名

出席役員

会長：東 靖人

副会長：井上喜通、中空浩志

理事：長尾卓夫、井野隆弘、江尻一成、尾崎公彦、森泰宏

監事：中谷裕司

議題

1. 兵庫県民間病院協会 理事会からの報告
 - 1 兵庫県民間病院協会 理事会での協議事項
 - 2 兵庫県民間病院協会 理事会での報告事項

2. 西播民間病院協会 検討事項

- (1)兵庫県令和7年度12月補正予算（緊急経済対策）について
- (2)「重点支援地方交付金」の地方公共団体ごとの交付限度額について
- (3)次回の理事役員会は令和8年3月21日開催とする

(一社) 兵庫県全日本病院協会だより

一般社団法人 兵庫県全日本病院協会 令和7年度 第7回理事会議事録(速報)

I 日 時 令和8年1月15日(木)
15:00~16:00

II 場 所 兵庫県医師会館6階
第4・5会議室

III 出席者 理事総数13名 出席理事12名
監事総数2名 出席監事2名
理 事:宮地千尋(会長)、吉田寛(副会長)、
鄭正秀(副会長)、橋本創、
吉田純一、常岡豊、大江与喜子、
越智豊、西昂、中井正信、
大石麻利子、古城資久
監 事:大隈健英、東靖人

なお、吉田寛、吉田純一、越智豊、大石麻利子、古城資久は Web 会議システムにより出席した。

IV 会議の成立

理事12名が出席し、定款第35条に規定する定足数を満たしており、本理事会が成立した旨確認された。

V 議 長

宮地千尋会長が、定款第34条の規定により議長となった。

VI 議事の経過の要領及びその結果

1 協議事項

(1)令和8年度事業計画(案)について

中村事務局長より、「令和8年度事業計画(案)」として、「管理運営に関する事業」「関連団体との連携に関する事業」「広報活動に関する事業」「研修会、講演会などの開催に関する事業」を従前通り実施することについて説明があり、協議の結果、全員一致をもって承認し、可決した。

2 報告事項

(1)会員の変更について

宮地会長より、以下のとおり会員の変更が報告された。

病院名(法人名省略)		西宮協立リハビリテーション病院
新会員名	役職	病院長
	氏名	うきた とおる 浮田 透
旧会員名	役職	病院長
	氏名	みやけ ゆうじ 三宅 裕治
変更年月日		R7.10.1

Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく終了した。

公益社団法人 全日本病院協会

2025年度 第3回理事会・第10回常任理事会

日時 2025年1月9日（金）13:00～16:00

場所 パレスホテル東京 2F「橘」

出席者 定数57名、出席49名（うちWEB会議出席12名）

議 事 要 旨（抜粋）

【主な報告事項】

- 中央社会保険医療協議会 総会について
津留常任理事より下記の報告がされた。
（第638回・2025.12.24）
 - ・個別事項（その20）技術的事項（その2）として、①骨密度検査、②情報通信機器を用いた心大血管疾患リハビリテーション、③新型コロナウイルス感染症治療薬に係る課題と論点が提示され議論した。
 - ・これまでの指摘に対する回答が提示された。
 - ・医療法等改正を踏まえた対応について、①外来医師過多区域における診療報酬上の対応、②オンライン診療に関する総体的な規定の創設に伴う対応に係る課題と論点が提示され議論した。
- 中央社会保険医療協議会 費用対効果評価専門部会について
津留常任理事より下記の報告がされた。
（第75回・2025.12.26）
 - ・費用対効果評価制度の見直しに関する検討（その3）として、①分析方法に関する事項（追加的有用性、リアルワールドデータの活用、医療機器の特性に応じた対応）、②診療ガイドライン、③分析体制に係る現状・課題、論点が提示され議論した。
 - ・2026年度費用対効果評価制度改革の骨子案が提示された。
- 中央社会保険医療協議会 保険医療材料専門部会について
津留常任理事より下記の報告がされた。
（第135回・2025.12.26）
 - ・2026年度保険医療材料制度改革の骨子案が提示された。
- 中央社会保険医療協議会 薬価専門部会について
津留常任理事より下記の報告がされた。
（第245回・2025.12.26）
 - ・2026年度薬価制度改革の骨子案が提示された。
- 中央社会保険医療協議会 総会について
津留常任理事より下記の報告がされた。
（第639回・2025.12.26）
 - ・予算大臣折衝を踏まえた2026年度診療報酬改定の改定率等が提示された。
 - ・同日開催された費用対効果評価専門部会、保険医療材料専門部会、薬価専門部会において承認された「2026年度費用対効果評価制度改革の骨子案」、「2026年度保険医療材料制度改革の骨子案」、「2026年度薬価制度改革の骨子案」が提示され、了承された。
 - ・1号側（支払側）・2号側（診療側）より2026年度診療報酬改定への意見が示された。次回以降、本意見も踏まえ個別の議論を行っていくこととなった。
 - ・2026年度診療報酬改定に当たり、医療の現場や患者等国民の声を反映させるため、中医協委員が国民の声を聴く機会を設定することを目的として開催する中医協公聴会について、2026年1月21日（水）10時～12時、オンライン形式により開催することが決定された。

●総合医リカレント実践事業「診療の場の提供」事業（GMネットワーク）の募集について

井上常任理事より、厚生労働省「総合的な診療能力を持つ医師育成のためのリカレント教育事業」に採択されたことを受けて、「診療の場の提供」事業の募集を開始したことが報告された。

総合医育成プログラム受講者数の推移をみると、2018年から2025年12月26日現在まで計495人（うち本会185人）となっているほか、「診療の場の提供」事業の参加申込医療機関は20医療機関となっていることが報告され、同事業への参加の協力が要請された。

●各委員会報告について

・病院のあり方委員会委員長の横倉常任理事より、かかりつけ医機能、在宅療養支援、地域救急、高齢者救急など「地域で必要とされる機能」について議論したことが報告された。

●厚生労働省、日医、他団体報告について

井上常任理事より、一般社団法人日本専門医機構理事会（第19回）の報告が行われた。

【討議事項】

●地域医療構想について

猪口副会長より、2025年12月12日に行われた「第8回地域医療構想及び医療計画等に関する検討会」の資料と論点に関して以下の説明が行われた。

○地域医療構想に係るガイドライン策定において、「高齢者救急」および「地域急性期機能」の位置づけが、民間病院（特に2次救急）の存続に直結する重要課題である。

○資料では、急性期拠点機能のみが構想区域の必須条件のように読め、高齢者救急や2次救急の役割が弱く扱われている懸念がある。このままでは、民間病院が中心となって担ってきた2次救急が淘汰されかねない。

○人口の少ない地域では「急性期拠点機能を区域に1医療機関確保すれば足りる」という読み方ができ、高齢者救急、地域急性期、

在宅・専門機能、は「拠点機能があれば十分」と軽視されているように見える。

○急性期拠点機能は実質的に大病院（300～500床規模）向けの要件となっており、民間2次救急病院には手が挙げにくい。

○高齢者救急の定義が不明確であり、年齢（75歳以上など）では定義されていない。検討会資料では「地域包括医療病棟」が高齢者救急の受け皿のように書かれているが、急性期病床なのか、2次救急なのかが整理されておらず混乱を招いている。

○「2次救急は機能不全」「3次救急（ER）が1次～3次すべて担うべき」という議論が一部で進んでいる。これは現実的でなく、2次救急を中心とした高齢者救急体制が不可欠との立場を明確に示す必要がある。

○心筋梗塞、大動脈疾患、脳卒中などは、高度急性期・3次救急へ直送でよいが、それ以外の高齢者救急はまず2次救急でワンストップ対応し、必要に応じて3次へ上り搬送、あるいは在宅・下り搬送へ振り分けることで考えてはどうか。

○地方都市型・人口が少ない地域を基準にすると、救急患者が急性期拠点（大病院）に集中し、2次救急に患者が来なくなる。都市部の典型モデル（2次救急中心）を日本の基本形とし、各地域がそれを修正（モディファイ）する形が戦略的に望ましい。

○高齢者救急は民間病院・2次救急の生命線であり、この流れが断たれるガイドラインは容認すべきできないと考えている。地域医療構想は現在「最大の山場」にあり、先生方のご意見を伺って、明確に主張し、戦略的に議論していく必要がある。

猪口副会長からの説明を受け、下記の意見が出された。

○高齢者は介護施設、サ高住などに多く、流れとしては民間病院が介護施設等を後方支援する形で連携する高齢者救急の体制を作ることを中心に考えてはどうか。

○民間病院と公立・公的病院の役割、地域性による違いを考慮するべきではないか。

- 人口が少ない地域では、民間病院が一次救急、二次救急をカバーして三次救急につながるべき。三次救急と一次救急、二次救急が連携することによって、三次救急の疲弊感も違ってくる。本会会員の医療機関は地域密着型がふさわしい。
- 厚生労働省に対して、救急搬送された患者の病院別の医療費データの提出を求める必要がある。急性期拠点病院に位置付けられるような病院と200床未満の中小病院では、当然医療費には差が出てくる。その差をみれば、急性期拠点病院に救急患者を搬送することの議論の前提が変わる。高齢者に特有の疾患での入院が急性期拠点病院の患者の多くを占めるようになると、急性期拠点病院の本来の使命が果たせなくなる。
- 高齢者救急は基本的に民間病院が引き受けるということを地域医療調整会議の合意事項とし、各医療圏で高齢者救急の医療提供体制を議論し、認識を共有することが重要ではないか。
- 高齢者救急の対象となる高齢者の定義について話が出ているが、年齢で区切るよりも介護度やフレイルで定義することを考えてはどうか。
- 民間病院は高齢者の医療・介護の拠点病院を担うという観点を考えなければいけない。
- 民間病院が二次救急の質を確保し、体制を担保しておく必要がある。

兵庫県病院協同組合だより

金額単位：円

1	種目	件数	取扱高	前年同月比	種目	件数	取扱高	前年同月比
月 事 業 報 告	融 資	0 病院			牛 乳	1 病院	28,944	△4,132
	寝 具	26 病院	6,769,816	△12,428	防 虫	0 病院		
	白 衣	20 病院	7,023,250	△1,767,803	保険（手数料収入）		21	0
	患者衣	8 病院	679,459	△682	飲料（手数料収入）		4,533	△277
	パ ン	0 病院			その他（手数料収入）		11,402	11,402

1月理事会について

- 1 日 時 令和8年1月15日（木）
14：00～14：50
- 2 場 所 兵庫県医師会館6階
第1会議室
- 3 役員総数 理事8人、監事2人
- 4 出席理事 8人（うち本人出席7人）
（うち議決権行使書出席1人）
- 5 出席監事 0人
- 6 理事会の成立

定款第49条の規定により、理事長 西 昂が議長に就任、理事会の成立を報告し、直ちに議事に入った。

7 議 題

(1) 議案事項

① 電動ベッド等のリースに関するアンケートについて

議長は、事務局長から組合所有資金を有効に活用するため、11月理事会の決定を基に作成した電動ベッド等のリースに関するアンケートについて説明させ、慎重審議の結果、離床センサーは故障が多いことからリース対象から外すこととし、アンケートは電動ベッドに限定して実施することを全員一致で承認した。

② 帳票獲得に関する業務提携契約書について

議長は、事務局長から総合メディカル株式会社より提案のあった業務提携契約について

説明させ、慎重審議の結果、原案通りに契約することを全員一致で承認した。

③ 来年度役員改選に向けた対応について

議長は、事務局長に現在の役員に対する役員継続就任への意向調査の結果を報告させ、慎重審議の結果、退任意向役員の後任候補について、人選を理事長に一任することを全員一致で承認した。

④ 新規幹旋品目について

議長は、事務局長にN95 マスク等の新たな幹旋商品を説明させ、慎重審議の結果、原案通り組合で幹旋することを全員一致で承認した。

⑤ 商品展示説明会について

議長は、事務局長に兵庫県全日本病院協会等との共同開催となった「研究発表会」（令和8年8月1日（土）開催）の同一階会場（別会議室）で、幹旋商品等の展示会を開催する計画を説明させ、慎重審議の結果、原案どおりに会場確保等の準備を進めることを全員一致で承認した。

(2) 報告事案

① 12月度事業及び収支について

事務局長より、資料に基づき12月の組合活動状況等の報告があった。

② 当面の資金運用について

事務局長より、11月理事会の決定を受け、組合所有資金（5,000万円）を三井住友銀行の

3ヶ月定期預金（年利 0.25%）としたことの報告があった。

報告事項について、議長は質問、意見等を募ったが特に発言はなかった。

③ 次回役員会について
定例理事会

令和8年2月18日（水）14:00~14:50
兵庫県医師会館6階 第1会議室

兵庫県病院協同組合 特別企画 ※特別価格にて期間限定販売!!

ストラップの長さ調節により、顔や顔の形にフィット
至近距離での感染リスクを軽減、呼吸のしやすい立体マスク

① N95 マスク レギュラーサイズ/ 顔掛けタイプ



● 新型インフルエンザ対策用N95マスクです。
● ウイルス感染者と至近距離（半径1~2m以内）で接する場合に感染リスクを軽減します。
● 立体型のため呼吸が楽で、声がかもりにくく、口紅もつきにくいマスクです。
● 1枚ごとに、個包装になっていて衛生的です。

① N95マスク 20枚入×12箱
★1ケース以上のご発注でメーカー直送
特別価格:15,200円/1ケース
(1枚あたり@63円)

再生不織布を使用した経済的なガウン
IS 不織布ガウンⅡ



② IS不織布ガウンⅡ 10枚入×24袋

● ほとんどくまなく菌を除去するディスポーザブル不織布ガウンです。（顔面・フルカバー）
● 袖と腕の2ヶ所を巻締りするシングルデザインです。
● 袖口は経緯性を確保した縮ゴム形状。
● 耐薬液汚染、薬液の逆流、汚染除去用、患者保護用等のガウンとして幅広く使用できます。
● 10枚入りビニールパックに圧縮パック状態で多くのお客を向けにスペースに最適です。
● 10枚入りビニールパックに圧縮状態で200~1200枚までまとめてお客向けに供給可能です。
○ 本製品は、製造工程において未使用の原料不織布等を再生し、リサイクル不織布として使用しています。

② IS不織布ガウンⅡ 10枚入×24袋
★1ケース以上のご発注でメーカー直送
特別価格:12,000円/1ケース
(1枚あたり@50円)

顔全体を保護するフルフェイス・フェイスガード

③ フェイスガード CD3



● ほぼ顔全体を保護するフルフェイス・フェイスガードです。（眼鏡との併用可能）
● 装着しやすいヘッドバンドは伸縮力があり、適度にホルドルシ、長時間使用が可能です。
● シールド（PET）は、防曇加工をしています。
● 各部詳細

ヘッドバンド：伸縮性があり長時間使用可能です。
鼻部（ブルー色）「シールド」から「印刷」へ順次変更となります。
目パッド：柔らかいので圧迫感が抑えられます。（両目付）
シールド：防曇加工で曇りにくいです。

③ フェイスガードCD3 20個入×16箱
★1ケース以上のご発注でメーカー直送
特別価格:25,000円/1ケース
(1枚あたり@78円)

再生不織布を使用した経済的な使いきりキャップ
e不織布キャップ



④ e不織布キャップ 100枚入り×20袋

● 透気性に優れた14g/m² PPスパンボンド不織布キャップです。
● 前後、中央材料厚、EUPHASELまたは食品加工用等で広く使用できる使いきりキャップです。
● 23インチサイズのため、髪が多い方でも簡単に装着することが可能です。
● 表面シクにしきスチース化を図り、使用時に好きな位置に切込みを入れてご使用ください。
○ 本製品は、製造加工において未使用の原料不織布等を再生し、リサイクル不織布として使用しています。

④ e不織布キャップ100枚入り×20袋
★1ケース以上のご発注でメーカー直送
特別価格:9,600円/1ケース
(1枚あたり@4.8円)

詳しくはコチラ
↓
兵庫県病院協同組合
〒651-0086
神戸市中央区磯上通6丁目1-11兵庫県医師会館
TEL: 078-230-2525 FAX: 078-230-2526
E-mail: hgbyokyo@pure.ocn.ne.jp
https://hgbyokyo.com/



兵庫県病院企業年金基金だより

令和7年度 第2回理事会・第21回代議員会開催

〔令和8年度予算等が承認されました。〕

令和8年1月28日神戸市中央区のホテルオークラ神戸において、令和7年度第2回理事会・第21回代議員会が開催され、令和8年度兵庫県病院企業年金予算書案等について審議され承認されました。

《議 題》

議案第1号「令和8年度予算書案」について、18頁～21頁のとおり承認されました。

議案第2号「令和8年度の年金資産の運用に関する基本方針」について

当基金は、令和3年度よりリスクを抑制した運用を基本方針としており、令和8年度の年金資産の運用に関する基本方針についても、「引続きリスクを抑制した運用を行う。」ということで承認されました。

令和8年度収入支出予算概要

年金経理 予定損益計算書（自令和8年4月1日 至令和9年3月31日）

(1) 経常収支

（単位：百万円）

費用勘定			収益勘定			
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要	
給付費	470	老齢給付金	掛金等収入	457	事業主からの掛金	
		脱退一時金				272
		遺族給付金				194
移換金	21	企業年金連合会等へ移換する年金原資	受換金等	0		
		4				
運用報酬等 業務委託費等	44 29	信託銀行に支払う運用手数料	運用収益	197	資産運用における収益	
		業務の委託手数料				
計	564		計	654		

(2) 特別収支

費用勘定			収益勘定		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
特別支出	0		特別収入	0	
繰入金	0		受入金	0	
計	0		計	0	

(3) 負債の変動

費用勘定			収益勘定		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
責任準備金増加額	90		責任準備金減少額	0	
計	90		計	0	

(4) 基本金及び総合計

費用勘定			収益勘定		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
別途積立金積増金	0		別途積立金取崩金	0	
当年度剰余金	0		当年度不足金	0	
計	0		計	0	
経常収支の計	564		経常収支の計	654	
特別収支の計	0		特別収支の計	0	
負債の変動の計	90		負債の変動の計	0	
総合計	654		総合計	654	

年金経理 予定貸借対照表（令和9年3月31日現在）

(1) 純資産

(単位：百万円)

資産勘定			負債勘定		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
流動資産	76	現金・預貯金 38 未収掛金 38 未収受換金等 0	流動負債	0	
			支払備金	239	未払給付費 236 未払移換金 3
固定資産	9,160				
計	9,236		計	239	

(2) 負債

資産勘定			負債勘定		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
—	—		責任準備金	5,952	
—	—		計	5,952	

(3) 基本金及び総合計

資産勘定			負債勘定		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
基本金	0	繰越不足金 0 当年度不足金 0	基本金	3,045	別途積立金 3,045 当年度剰余金 0
計	0		計	3,045	
純資産の計	9,236		純資産の計	239	
基本金の計	0		負債の計	5,952	
			基本金の計	3,045	
総合計	9,236		総合計	9,236	

業務経理 業務会計 予定損益計算書（自 令和8年4月1日 至 令和9年3月31日）

（単位：千円）

費用勘定			収益勘定		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
事務費	45,140	役職員給与・役職員諸手当・旅費・退職手当引当費・需用費・会議費	掛金収入	65,280	事業主からの掛金
代議員会費	730	代議員旅費・代議員需用費・代議員会議費	受入金	0	
業務委託費等	2,200		雑収入	320	
繰入金	7,000	福祉事業会計への繰入金			
雑支出	54,757	連合会費・地区協議会費・各種負担金・地方税・会報費等			
剰余金	0	当年度剰余金	不足金	44,227	当年度不足金
計	109,827		計	109,827	

業務経理 業務会計 予定貸借対照表（令和9年3月31日現在）

（単位：千円）

資産勘定			負債勘定		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
流動資産	152,584	現金・預貯金 未収事務費掛金	流動負債	13,256	預り金 引当金 未払金
固定資産	0		固定負債	0	
基本金	44,227	当年度不足金	基本金	183,555	繰越剰余金
計	196,811		計	196,811	

業務経理 福祉事業会計 予定損益計算書（自令和8年4月1日 至令和9年3月31日）

（単位：千円）

費用勘定			収益勘定		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
事務費	1,700	需用費	掛金収入	0	業務会計からの受入金
福祉事業費	5,100	福祉給付金	受入金	7,000	
雑支出	200		雑収入	0	
計	7,000		計	7,000	

業務経理 福祉事業会計 予定貸借対照表（令和9年3月31日現在）

（単位：千円）

資産勘定			負債勘定		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
流動資産	0		流動負債	0	
固定資産	0		固定負債	0	
基本金	0		基本金	0	
計	0		計	0	

兵庫県病院企業年金基金資産別運用状況一覧表 (2025年4月～2026年1月)

収益率計算方法 : 修正デイトン法
 総合口6資産分解 : 分解する

ファンド名	国内債券		国内株式		外国債券		外国株式		キャッシュ等		資産全体		資産全体 修正総合利回り	
	時間加重 時価総額 (構成比)	金額加重 時価総額 (構成比)												
														(その他)
ベンチマーク	-4.98%	-	35.93%	-	10.98%	-	30.11%	-	0.39%	-	0.39%	-	-	
総合計	-4.31%	4,768,503,303	35.88%	933,395,214	10.89%	828,400,010	30.38%	904,316,787	0.41%	383,960,440	3.66%	1,420,805,384	5.19%	9,189,381,138
みずほ信託銀行合計	-4.93%	51.89%	35.62%	10.16%	10.82%	9.01%	30.25%	9.84%	0.40%	3.63%	3.82%	15.46%	4.98%	100.00%
みずほ信託銀行バラ	-4.93%	2,992,148,152	634,405,642	9.89%	553,046,160	8.63%	606,111,948	9.45%	271,432,550	4.23%	1,354,415,252	21.12%	6,411,559,704	69.77%
みずほ債券SA	-	2,992,148,152	634,405,642	12.54%	553,046,160	10.94%	606,111,948	11.99%	271,432,550	5.37%	1,354,415,252	21.12%	6,411,559,704	69.77%
みずほアフロ	-	59.17%	-	-	-	-	-	-	0.40%	-	-	-	5.28%	5.33%
三井住友信託銀行バ	-4.89%	793,193,937	36.28%	156,070,008	11.02%	142,570,070	30.72%	154,830,400	0.39%	9,063	0.28%	642,398,942	0.28%	642,408,005
三井住友信託銀行バ	-4.85%	60.41%	36.59%	11.89%	11.03%	10.86%	11.79%	11.79%	0.44%	0.00%	0.42%	66,390,132	5.50%	1,313,054,547
りそなマルチ	7.60%	249,470,114	-	142,919,564	132,783,780	10.94%	143,374,439	11.81%	61,315,318	5.05%	-	5.47%	1,214,084,201	13.21%
	99.52%	99.52%	-	99.52%	-	-	-	-	0.20%	1,212,572	0.48%	250,682,686	2.73%	2,506,826,686

注) 「ファンド名」- 「ベンチマーク」は、「ファンド「総合計」のベンチマークの値を表示。

兵庫県病院企業年金基金時価増減一覧表（2025年4月～2026年1月）

収益率計算方法

： 修正ダイナミクス法

金額単位：円

ファンド名	速確区分	2025年3月末 時価総額	2026年1月末 時価総額	増減額			時間加重 収益率	複合ベンチ マーク 騰落率
				掛金等	給付等	収益		
総合計	確	8,961,199,334	9,189,381,138	228,181,804	386,272,996	621,196,938	463,105,746	5.19%
みずほ信託合計	確	6,325,884,469	6,411,559,704	85,675,235	386,272,996	614,334,577	313,736,816	4.98%
みずほ信託バランス	確	5,021,321,033	5,057,135,389	35,814,356	386,272,996	614,334,577	263,875,937	5.28%
みずほ債券SA	確	640,615,906	642,408,005	1,792,099	0	0	1,792,099	0.28%
みずほアラロン	確	663,947,530	712,016,310	48,068,780	0	0	48,068,780	7.24%
三井住友信託バランス	確	1,247,790,696	1,313,054,547	65,263,851	0	3,291,531	68,555,382	5.50%
三菱UFJ信託バランス	確	1,153,963,688	1,214,084,201	60,120,513	0	3,004,389	63,124,902	5.47%
りそなマルチ	確	233,560,481	250,682,686	17,122,205	0	566,441	17,688,646	7.58%

【月末マーケット指数】

	NOMURA-BPI		日興CB		TOPIX		FTSE世界国債		MSCI-KOKUSAI		コール有担保		日経平均(円)		10年国債		為替(円/ドル)		米国NYダウ(ドル)		米10年国債		為替(円/ユーロ)		
	349.164	331.790	-	-	4,626.52	6,288.77	35.93%	598.49	664.21	8,617.132	11,211.467	-	-	35,617.56	53,322.85	1.485	2.240	149.540	154.260	42,001.76	48,892.47	4.23	4.26	161.533	183.515
2025年3月末																									
2026年1月末																									
年度末比上昇率	-4.98%						10.98%		30.11%					49.71%				3.16%		16.41%					13.61%

兵庫県病院企業年金基金のホームページ <http://www.hyogokenbyoin-kikin.or.jp/>

業 務 案 内

兵庫県病院協同組合 (設立昭和 37 年)

幹 旋 及 び 取 扱 い	基準寝具及び 白衣・患者衣の賃貸	○ ワタキューセイモア(株)
	牛 乳	○ (株)共進舎牧農園
	ねずみ・衛生害虫防除	○ アペックス(株)
	自動販売機による飲料	○ (株)チェリオ Co.、ダイナミックベンディングネットワーク(株) (株)アペックス西日本
	保 險 代 理 店	○ 損害保険ジャパン代理店 (組合募集代理店…(株)インシュアランスサービス) 兵庫県民間病院協会の会員病院、従業員を対象とした自動車保険・ 火災保険等の取扱い ○ アフラック生命保険株式会社 (組合募集代理店…(株)エイフ) 組合員病院、従業員を対象とした集団扱い商品 (がん保険) の取扱い
	自 動 車 リ ー ス	○ (株)イチネン
	院内システム導入・ 電気工事等	○ (株)ヒューマンスピリッツ
	家庭常備薬、サプリメント (対象:組合員病院の全職員)	○ (株)諒和 組合員病院の職員の福利厚生及びその家族の疾病予防、健康増進の 一助として、年2回程度幹旋実施
	紳士服、レディース用品 (対象:組合員病院の全職員)	○ (株)青山商事と提携 「洋服の青山」で買い物時、「AOYAMA タイアップカード」(入会無料) の提示により、通年、10%の割引(割引セールの場合は割引後の価格 から)が受けられる。(福利厚生の一助として)
	看護師グッズ通信販売 (対象:特別法人入会が条件) ※ 病院ごとの発注	○ (株)ナースステージと提携 (京都府病院協同組合との協働事業) (株)ナースステージの特別法人会員にご入会いただくと、通信販売 「アンファミエ」商品をご購入金額にかかわらず10%割引
引 越 (対象:組合員病院及び組合 員病院の全職員)	○ (株)サカイ引越センターと提携 「特別割引専用ダイヤル」(TEL0120-56-1141)で申込むと、特別優待 割引(引越基本料金の20%以上割引。但し3月15日～4月15日は除く) が受けられる。(福利厚生の一助として)	

※上記以外にも、病院運営に役立つ物品・機器の紹介や幹旋をおこなっています。

ホームページからお気軽にお問い合わせください。公式サイト URL: <https://hgbyokyoso.com/>



組合員数 114
 理事長 西 昂 (医療法人康雄会理事長)
 専務理事 鄭 正 秀 (医療法人社団博愛恵秀会理事長)
 常務理事 森 村 安 史 (医療法人樹光会理事長)

- ・協同組合には10万円の出資金のみ拠出いただければご加入できます。ご加入後は年会費など頂戴することはありません。
- ・取扱い業務並びに組合加入その他詳細は協同組合事務局へお問い合わせください。

協同組合事務局・TEL (078) 230 - 2525
 FAX (078) 230 - 2526